



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(4月3日時点)

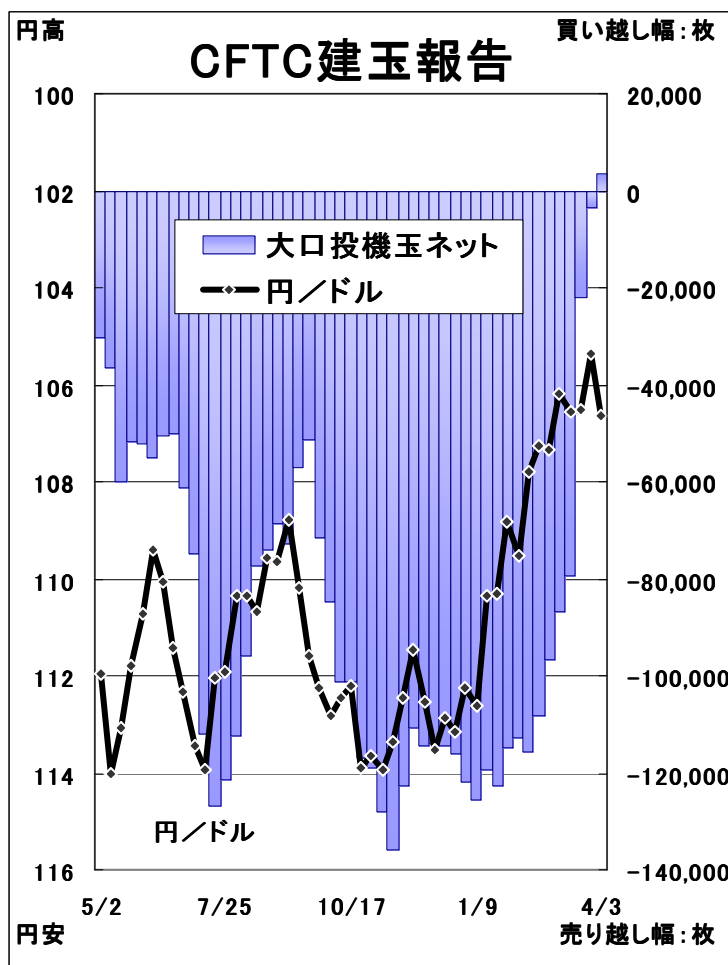
米商品先物取引委員会(CFTC)が6日に発表した建玉報告によると、3日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)は前週の売り越しから買い越しに転じ、買越幅は3572枚となった。投機筋は売り買い共にポジションを減らした。

期間中の円(対ドル)は下落。年度末にグッドフライデーとそれに続くイースター(復活祭)の連休が重なったことで、年度末に絡んだ円買いが優勢になる場面もあったが、29日には米国と中国が水面下で貿易戦争回避に向けた協議に入ったとの報を受け、巻き戻しの円売りドル買いが進行。4月に入ると、期初に伴う国内輸入企業や機関投資家によるドル買いも入った。また、トランプ米政権のナバロ通商製造業政策局長は2日、中国に対する貿易制裁措置について「米中間で報復の応酬は予想しない」と語り、貿易戦争に発展するとの見方を否定したことも、投資家のリスク回避姿勢を後退させ、安全資産とされる円を売ってドルを買う動きを強めた。ただ、期間後の5日には、トランプ米政権は中国による知的財産権侵害を理由に、1000億ドル規模の新たな追加関税の検討に入ったことで、制裁発動回避を目指した両国の協議は難航すると見られている。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は13万4381枚となり、前週比6683枚縮小。

英国の欧州連合(EU)離脱交渉や米国と中国の「貿易戦争」を巡る思惑に振られる格好で上下動。中国と米国の貿易摩擦が交渉により決着する可能性が高いとの見方が強まったことを背景に、ユーロ売りドル買いの流れが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
12/05	112.55	-114,267	1.1826	93,106
12/12	113.51	-114,123	1.1741	113,889
12/19	112.86	-114,373	1.1842	86,224
12/26	113.17	-116,086	1.1863	92,148
01/02	112.25	-121,766	1.2058	127,868
01/09	112.62	-125,536	1.1933	144,691
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
前週比	1.24	+7,240	-0.0133	-6,683



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。